

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
幼児指導法 Infant Teaching Method		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	必修	中津 愛子	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

**○コアカリキュラム：保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）**

全体目標：幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。

(1) 各領域のねらい及び内容  
 一般目標：幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。  
 到達目標：1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。  
 2) 当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している  
 3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。  
 4) 領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。

(2) 保育内容の指導方法と保育の構想  
 一般目標：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。  
 到達目標：1) 幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。  
 2) 各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。  
 3) 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。  
 4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。  
 5) 各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。

【全体目標及び概要】	
保育内容の指導法（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の基本を学び、5領域のねらいが総合的に達成されるために幼児の自発的な活動としての遊びを通して総合的に指導するという幼稚園教育の基本について学ぶ。 子どもの興味・関心や発達段階に応じて指導するための基礎知識を身に付ける。 子どもの主体的な活動が確保されるための環境構成の基本について学ぶ。	
【一般目標及び到達目標】	目標対応
(1) 幼稚園教育の基本を踏まえた指導の考え方を理解している。 1) 幼児期の教育における見方・考え方について、事例を挙げて説明できる。	(1)-1)
2) 遊びを通して総合的に指導することの意義と教師の役割を説明できる。	(1)-2)
3) 幼児理解に基づく評価について説明できる。	(1)-3)
4) 幼稚園から小学校への接続を円滑に行うために何が重要かを説明できる。	(1)-4)
(2) 幼稚園教育における指導計画の考え方を理解し、発達の過程を見通した指導計画の作成について理解する。 1) 幼稚園における指導計画作成の基本を説明できる。	(2)-1)
2) 長期の指導計画と短期の指導計画について説明できる。	(2)-2)
3) 子どもの姿をもとに指導計画を作成する手順と、指導上の留意点、配慮事項が説明できる。	(2)-3)
4) 指導計画を評価するための基本的事項を説明できる。	(2)-4)
(3) 幼児の興味・関心や発達の実情に応じた具体的な指導・援助のあり方を説明できる。 1) 幼児の実態から、人、物、自然などの環境を構成する力や教材を工夫する力を身に付ける。	(2)-2)
2) 具体的なねらいと内容を考えて指導計画を作成する力を身に付ける。	(2)-3)
3) 模擬保育を実践し、導入－展開－まとめの過程で、集団と個に対応する力を身に付ける。	(2)-4)、5)

回数	幼児指導法 授業内容 【中津愛子】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応
1	幼児期の特性を踏まえ、遊びを通して指導するという幼児教育の基本となる考え方を学ぶ。	(1)-1) (1)-2)	(1)-1)、2)
2	子どもが身近な環境に関わり、発達に関わる経験をどのように行っているのか、保育現場の映像を観て理解する。	(1)-1) (1)-2)	(1)-1)、2)
3	子どもの主体的な活動が発展するための環境構成の意義について、保育場面の映像を通して理解する。	(1)-1) (1)-3)	(1)-1)、3)
4	環境を構成する人、物、自然等の要素と教材の工夫について、グループ討議を行ない、理解を深める。	(1)-1) (1)-2) (3)-1)	(1)-1)、2) (2)-2)
5	子どもの育ちと5つの領域の「ねらいと内容」のつながりを学ぶ。	(1)-2) (1)-3)	(1)-2)、3)
6	遊びの展開を考慮した援助の基本について、保育場面の映像を通して理解する。	(1)-3) (2)-3)	(1)-3) (2)-3)
7	附属幼稚園の教諭にインタビューを行い、子どもの生活・遊びに関わる教師の役割、クラス運営の実際を理解する。	(1)-3)	(1)-3)
8	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と活動のつながりを理解する。	(1)-4)	(1)-4)
9	幼稚園と小学校が連携して行っている活動実践を観察し、小学校への接続が円滑に行われるための重要事項について学ぶ。	(1)-4)	(1)-4)
10	保育現場の映像を通して幼児教育における教育課程・指導計画の基本を学ぶ。	(2)-1) (2)-2) (2)-3) (2)-4)	(2)-1)、2)、3)、 4)
11	長期の指導計画と短期の指導計画を理解し、子どもの発達に応じて指導計画を立案し教材を活用するための基本を学ぶ。	(2)-2)	(2)-2)
12	指導計画の作成における環境の構成と教材の工夫について理解する。	(2)-1) (2)-3)	(2)-1)、3)
13	模擬保育の実践の準備を行ない、子どもの活動を見通した具体的な援助方法についてグループ討議をし、教材の作成や選択を行なう。	(3)-1) (3)-2) (3)-3)	(2)-2)、3)、4)、 5)
14	グループで模擬保育を実践する（ビデオ録画の方法を身に付ける）。	(3)-3)	(2)-4)、5)
15	録画映像を再生して模擬保育の振り返りと評価を行ない、改善点を話し合う。	(2)-4) (3)-3)	(2)-4)、5)
定期試験	実施する		
成績評価方法	授業への取り組み・グループ討議への参加（関心・意欲・態度）30%、レポート（思考力・判断力・表現力）30%、定期試験（知識・理解）40%		
テキストおよび参考文献	テキスト：・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 文部科学省・内閣府・厚生労働省）、保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省） 『幼児指導法』 山口短期大学 参考文献：文部科学省『幼稚園教育指導資料第5集』 チャイルド本社		
メッセージなど	グループ討議や模擬保育を取り入れたアクティブ・ラーニング型の授業です。保育場面の映像を観たり、実際に附属幼稚園で子どもに関わったりしながら、遊びを通して指導するとは何かを考えていきましょう。		

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1 幼児期の教育における見方・考え方について、事例を挙げて説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	5%
(1)-2 遊びを通して総合的に指導することの意義と教師の役割を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(1)-3 幼児理解に基づく評価について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(1)-4 幼稚園から小学校への接続を円滑に行うために何が重要かを説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-1 幼稚園における指導計画作成の基本を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-2 長期の指導計画と短期の指導計画について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-3 子どもの姿をもとに指導計画を作成する手順と、指導上の留意点、配慮事項が説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-4 指導計画を評価するための基本的事項を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	5%	
(3)-1 幼児の実態から、人、物、自然などの環境を構成する力や教材を工夫する力を身に付ける。	環境を構成する力をほぼ完璧に身につけ、工夫もできる。	環境構成の基本は身に付け、教材の工夫もできる。	工夫する力は努力を要すが、環境構成の基本は身につけた。	身に付けていない。	授業への取り組み・グループ討議への参加(関心・意欲・態度)	30%
(3)-3 模擬保育を実践し、導入-展開-まとめの過程で、集団と個に対応する力を身に付ける。	導入からまとめまで、集団と個に対応する力をほぼ完璧に身に付けている。	集団と個に対応する力は、部分的には身に付けている。	模擬保育は実践したが、集団と個への対応は努力を要す。	模擬保育を実践していない。		
(3)-2 具体的なねらいと内容を考えて指導計画を作成する力を身に付ける。	ほぼ完璧な指導計画を作成できる。	大きな誤りはなく、ねらいに基づいた指導計画を作成できる。	誤字・脱字もあるが、最低限の基本を踏まえた指導計画を作成できる。	作成できていない。	課題レポート(思考力・判断力・表現力)	30%